

## ◎今、蘇る…武左衛門一揆の道



復興を願い  
一揆の道を完歩

「日吉一希を起こす会」は10月20日、武左衛門とその同志が歩いた道のりを辿る「今、蘇る…武左衛門一揆の道」を開催しました。

この日は西日本豪雨からの復興を願い、鬼北町役場から吉田町までの約20kmを完歩。義援金を届けるとともに、先人に思いを馳せていました。

## ◎第15回きほく作品展



作者の思い溢れる  
魂の作品が集結

「第15回きほく作品展」は10月10日から13日までの間、広見体育センターで開催されました。

会場には、町内各保育所、小中学校や各種文化団体等による力作が集結。可愛らしい作品から迫力ある作品まで、来場者たちはその個性豊かな作品を一つ一つじっくりと見て回っていました。

## ◎鬼北町球技スポーツ少年大会



目指せ1勝！  
目指せ頂点！

10月26日、鬼北総合公園体育館で「鬼北町球技スポーツ少年大会」が開催されました。

この日はバスケットボールの試合が行われ、町内外から5チームが参加。会場には懸命に戦う選手の姿がありました。主な結果は次のとおりです。

①近永スポーツ少年団 ②野村ミニバス教室A

## ◎「えひめ愛・野球博」わくわく野球体験



身を持って伝える  
野球の楽しさ

鬼北町商工会青年部は10月23日、近永小学校とさくら保育所で愛媛マンダリンパイレーツの選手による「わくわく野球体験」を開催しました。

選手たちはキャッチボールや的当てゲームなどを通して、子どもたちにボールを投げる！打つ！捕る！走る！の楽しさを伝えていました。

## ◎子どもたちのための人権集会



知ることの大切さ、  
伝えることの大切さ

11月5日、広見中学校体育館で「子どもたちのための人権集会」が開催されました。

今年は鬼北町出身で獨協医科大学准教授の木村真三さんを講師に迎え、「知ることの大切さ～ハンセン病という差別からの脱却～」と題して講演。木村さんは「間違ったことは違ふとはっきり言える大人になってほしい」と訴えました。

## ◎第15回きほく芸能まつり



文化の秋  
芸達者な鬼北人

「第15回きほく芸能まつり」は10月26日、広見体育センターで開催されました。

文楽、日舞や社交ダンス、そして歌や演奏など、幅広い演目が楽しめるのがこのまつりの魅力。今年は町内の芸能団体13団体が日頃の練習の成果を披露し、会場を盛り上げていました。